

# 振り返り & アクションプラン

令和6年度 インド教職員招へいプログラム

# 振り返り

インド教職員招へいプログラムでの日本滞在は非常に充実したものであった。

10月3日の東京ゆりかご幼稚園訪問では、幼児教育についての深い気づきを得ることができた。

- **体験ベースの学び**：自然に触れる体験型のアクティビティを通じて、幼児を惹きつける効果的な保育内容や方法を観察した。
- **全体的な発達**：東京ゆりかご幼稚園のアプローチは、ライフスキル、アカデミックな学び、課外活動を組み合わせることで、園児の総合的な成長をサポートしていた。

今回幼稚園を訪問した経験から、幼児教育において子どもたちの好奇心と実践力を育む革新的な方法に触れることができた。



# アクションプラン

日本での経験から得た学びや気づきは、今後CEEで取り組むプロジェクトやプログラムにも取りれていく。また、私たちは、生徒や教師を積極的に巻き込みながら、プログラム期間中に得た学びをインドの学校における実践につなげていくことを目指す。

- **持続可能性に関する教育に重点を置く**：気候変動教育と持続可能な開発目標（SDGs）の統合に重点を置く。
- **問題解決型学習（PBL）**：持続可能性の概念に関する実践的な応用力を養い、理解するために、児童生徒を体験ベースのプロジェクトに参加させる。
- PBLを学校全体に浸透させるために、包括的なホールスクールアプローチを取り入れる。PBLのキーコンセプトを利用して、全校集会を実施する。学校全体を巻き込んだイベントや大会を企画し、児童生徒の創造力を高め、持続可能性に焦点を当てた学びを深める。

こうした取り組みは、自主的かつ積極的な若い学習者を育てることの一助になる得る。